

NPO法人丸子まちづくり協議会
設立5周年&認定承認記念式典

地域課題に取り組むNPOと今後の課題

2016. 6. 2

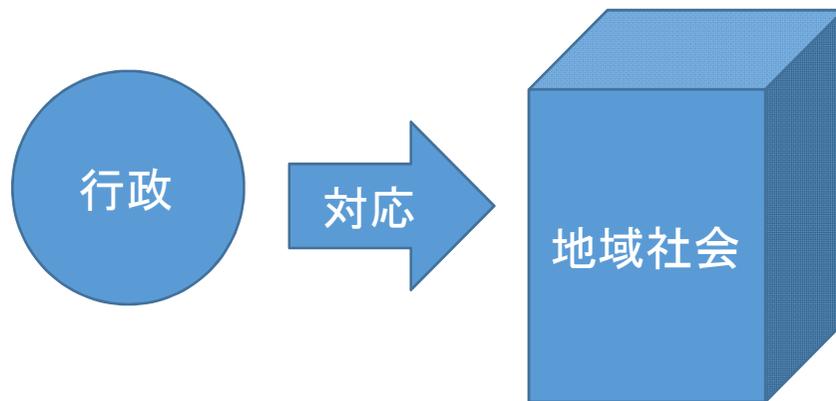
静岡大学人文社会科学部 日詰一幸

地域課題解決に乗り出す住民

- 地域社会がかかえる課題に対して、その対応は、個人でもまた行政単独でも困難
 - ➡地域を構成する様々な主体のつながりが大切
- 地域社会では、地域の課題に気づき、それを解決するために動き出す人々がいたるところで登場するようになった
- そのような人々が組織をつくり、NPO法人として活動する団体も登場～まさに[丸子まちづくり協議会](#)
 - ➡責任をもって課題解決に乗り出すことが可能となり、これらの団体が個人や他の団体(地縁団体、行政等)を巻き込むことで活動の幅を広げることが可能

地域課題解決の枠組み

従来の形



これからの形



まとめ

- 地域の課題を地域に住む住民や地域で活動をするNPO、行政が連携して解決する取り組みは重要になっている
➡丸子まちづくり協議会は、「地域のことは地域で」を合言葉に誕生、5年間の活動実績
- 丸子ビジョンの作成(2014)～地域での経済活性化のまなざし➡認定NPO法人としてのメリットを最大限発揮する
- 地域課題解決の主体はやはり地域～人々が結び合い、豊かな地域社会は地域の人々にしかつくりえない
➡担い手が育つ環境をつくっていくことも大切
～各地区での取り組みに新しい力(例えば、若い人、女性等)が加わると地域の仕組みがさらに充実する